

平成 21 年 11 月 24 日

報道関係各位

特定非営利活動法人チャリティ・プラットフォーム

NPO 法人チャリティ・プラットフォーム、
複数業界を横断した企業連携チャリティキャンペーン

「SayLOVE」

平成 21 年 12 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで展開

社会貢献意識の高い企業 33 社(昨年 6 社)の協力より

“子どもの笑顔 100 万個プロジェクト”を支援致します。



Say LOVE
since 2008

特定非営利活動法人チャリティ・プラットフォーム(東京都港区、代表理事:佐藤大吾、以下、チャリティ・プラットフォーム)は、2009年12月1日から2010年3月31日までの期間、昨年に続き2度目となる*1)、企業連携によるチャリティキャンペーン「SayLOVE since2008」(セイ・ラヴ シンス 2008)を展開します。今年は募金箱やチャリティ商品設置は4000か所の見込みです。

「SayLOVE since2008」は、チャリティ・プラットフォームが社会貢献に意識の高い企業と連携し、「いいことがしたい」と思っているのに、そのきっかけや機会になかなか出会えないという人々に向け、店頭での募金や寄付付き商品の購入、ネットでのクレジット寄付などを通じて、社会貢献に参加していただけるキャンペーンです。キャンペーンで集められた寄付金は“子どもの笑顔 100 万個プロジェクト” *2)に寄付され、様々な分野で活躍する子ども支援のNPO 団体の活動資金として活用されます。

このキャンペーン展開の目的は「人々にとって社会貢献の機会を身近なものにし、日本に寄付文化を創造すること」。この度、「SayLOVE since2008」キャンペーンを、生活者により近い協力各社様のご協力のもとで展開させていただくことにより、昨年に引き続き社会貢献の機会を日本中につくりだし、チャリティをより身近に感じてもらえる機会となれば、と願っています。チャリティ・プラットフォームでは、多くの企業のご協力のもと、このキャンペーンを来年以降も継続していき、将来的には日本最大規模のチャリティ恒例イベントとなるよう、育てていきたいと考えています。

今年で2度目となる本キャンペーンには、株式会社イエルバ、株式会社アイデアインターナショナル、株式会社イルムスジャパン、株式会社ウィル・シード、株式会社ウィルホールディングス、「ウエダジュエラー」(株式会社植田商店)、「サイバラ水産」(株式会社ウェブクルー)、株式会社エニグモ、大高醤油株式会社、オリジナル、「オルビス」(オルビス株式会社)、「シャノンマーレ化粧品」(株式会社風の音舎)、「fashionfactory」(株式会社 グローバルファッションリソース)、株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン、有限会社柴田陽子事務所、株式会社小肥羊(しやおふえいやん)ジャパン、「Rody」(株式会社 JAMMY)、「Soup Stock Tokyo」(株式会社スマイルズ)、株式会社千疋屋総本店、株式会社茶加藤、チョコレートデザイン株式会社、合同会社道塾、ピーエムアール株式会社、



CHARITY PLATFORM

「ドーナッツプラント」(株式会社ビッグイーツ)、「ファーストキッチン」(ファーストキッチン株式会社)、「BROOKLYN」(BROOKLYN CO.,LTD.)、「NAIL STATION」(ベレックス株式会社)、「BoConcept」(株式会社ボーコンセプト・ジャパン)、「Bodum」(ボダムジャパン株式会社)、「コレド日本橋」(三井不動産株式会社、ららぽーとマネジメント株式会社)、「Yahoo!ボランティア」(ヤフー株式会社)、ロッセリア(株式会社ロッセリア)、株式会社ワンダーテーブル(敬称略:企業名による五十音順)の計33社が参加・協力し募金箱の設置でや各店舗でのチャリティ製品の販売を行うとともに、SayLOVE特設ウェブサイト(<http://saylove.jp/>)でのクレジットの寄付の受け付けや Yahoo!ボランティアのインターネット募金上での寄付を受け付けなどを行います。

又、本キャンペーンのスタート日である12月1日(火)にはSayLOVE のキックオフイベントをコレド日本橋3F「shiba-café」で開催致します。

17時半～記者会見

実行委員会委員長大西健丞PWJ代表理事、駒崎弘樹フローレンス代表理事、林大介チャイルドライン支援センター事務局次長、今村久美NPOカタリバ代表理事、佐藤大吾チャリティ・プラットフォーム代表理事が参加いたします。

18時～ NPO4団体の代表と参加企業の代表者を交えたキックオフイベントを行います。

皆様のご参加をお待ちしております。参加希望の方は下記の問い合わせ先までお願い致します。

(*1) 昨年は企業6社の協力により、全国約3300か所(実施店舗とタクシーの合計数)にキャンペーン窓口を設置。

(*2) 「子どもの笑顔100万個プロジェクト」について: 2009年9月17日、国内外で支援を必要とする子どもたちを対象に活動しているNPO4団体が結束した子ども支援プロジェクト(実行委員会委員長: 大西健丞PWJ代表理事)。

プロジェクトに参加しているのは、紛争や災害などで安定した生活や教育を受けられない子どもたちを支援する「ピースウィンズ・ジャパン」、病児保育に取り組み仕事と子育ての両立が当たり前の社会をつくる「フローレンス」、家族や友人に話せない子どもたちの悩みを電話で受け止める「チャイルドライン支援センター」、進路や人間関係などに悩む高校生を“ナナメ”の関係でサポートし、人生を考える機会を提供する「NPOカタリバ」の4団体。

●寄付の窓口

「SayLOVE since2008」特設ページ (クレジットカード決済・イーバンクでの寄付窓口)

<http://www.saylove.jp>

「子どもの笑顔100万個プロジェクト」振込口座 (その他の寄付窓口)

銀行名: 三菱東京UFJ銀行 支店名: 六本木支店

口座番号: (普通)0062278

口座名: 子どもの笑顔100万個プロジェクト

金融機関名: ゆうちょ銀行

口座番号: 00170-0-568130

口座名: 子どもの笑顔100万個プロジェクト

※お振込の際の口座名にはチャリティ・プラットフォーム(事務局)と表示されます。



CHARITY PLATFORM

<400 字用記事>

特定非営利活動法人チャリティ・プラットフォーム(東京都港区、代表理事:佐藤大吾)は、2009年12月1日から2010年3月31日までの期間、昨年に続き2度目となる、企業連携によるチャリティキャンペーン「SayLOVE since2008」(セイ・ラヴ シンス 2008)を展開します。

「SayLOVE since2008」は、チャリティ・プラットフォームが社会貢献に意識の高い企業と連携し、「いいことがしたい」と思っているのに、そのきっかけや機会になかなか出会えないという人々に向け、店頭での募金や寄付付き商品の購入、ネットでのクレジット寄付などを通じて、社会貢献に参加していただけるキャンペーンです。キャンペーンで集められた寄付金は“子どもの笑顔 100 万個プロジェクト”に寄付され、様々な分野で活動する子ども支援のNPO団体の活動資金として活用されます。

今年の本キャンペーンには、33社の企業が参加・協力しております。

(408文字)

<600 字用記事>

特定非営利活動法人チャリティ・プラットフォーム(東京都港区、代表理事:佐藤大吾)は、2009年12月1日から2010年3月31日までの期間、昨年に続き2度目となる、企業連携によるチャリティキャンペーン「SayLOVE since2008」(セイ・ラヴ シンス 2008)を展開します。

「SayLOVE since2008」は、チャリティ・プラットフォームが社会貢献に意識の高い企業と連携し、「いいことがしたい」と思っているのに、そのきっかけや機会になかなか出会えないという人々に向け、店頭での募金や寄付付き商品の購入、ネットでのクレジット寄付などを通じて、社会貢献に参加していただけるキャンペーンです。キャンペーンで集められた寄付金は“子どもの笑顔 100 万個プロジェクト”に寄付され、様々な分野で活動する子ども支援のNPO団体の活動資金として活用されます。

この度、「SayLOVE since2008」キャンペーンを生活者により近い協力各社様の店頭で展開させていただくことにより、昨年に引き続き社会貢献の機会を日本中につくりだすきっかけとなり、チャリティ体験をより身近に感じてもらえる機会となればと思っています。

今年で2度目となる本キャンペーンには、33社の企業が参加・協力しております。

(542文字)

<SayLOVE キャンペーンおよび“子どもの笑顔 100 万個プロジェクト”についてのお問い合わせ先>

SayLOVEキャンペーン実行委員会

(特定非営利活動法人チャリティ・プラットフォーム内) 谷地、鈴木

電話:03-5770-3150 FAX:03-5770-0531 メールアドレス:pr@charity-platform.com

キャンペーンロゴ:(ロゴデータが必要な場合は、チャリティ・プラットフォーム広報担当までご連絡ください。)

Say **LOVE**
since 2008



CHARITY PLATFORM

著名人の応援メッセージ

村尾信尚(キャスター)

私たちの社会では、子どもの貧困、子どものいじめや自殺、虐待などの問題が、依然として大きな課題となっています。そうした中、今改めて未来を担う子供たちを社会全体で守り育てていく雰囲気や環境づくりが求められているのだと思います。

苦しみ、悩んでいる子どもたちが、一人でも多く心からの笑顔を取り戻していくために、一人一人の大人たちが、今、出来ることを考え、行動していくことが大切だと思います。

私も、この子どもたちの笑顔を生み出すキャンペーンを応援しています。

風見しんご(タレント)

愛する人、愛するわが子が目の前にいてくれる奇跡。

その笑顔は心を照らしてくれる唯一の光です。

100万個の奇跡の光が、いつまでも、どこまでも輝きますように。

川嶋あい(シンガーソングライター)

子どもの笑顔に国境はない。カンボジアの子ども達に会って想いました。この子たちの夢を叶えてあげたい……。

その為にはまずは知ること、そして想って考えて、最後に行動する。自分なりに続けていきたいと思っています。

100万個の子ども達の笑顔が生まれたら、私自身もまた更なる大きな笑顔をもらえる気がします。

プロジェクトの発展を心から祈っています。

有森裕子(女子マラソン五輪メダリスト)

世界にたった一人しかいない素敵なあなた！ 大切に大好きに！

椿姫彩菜(モデル・コメンテーター)

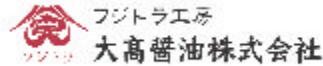
最近、子どもと親が「抱き合う」ということが、少なくなっているようです。

心身ともに子どもを「抱きしめてあげる」ような社会になっていけたら素敵だと思います。



CHARITY PLATFORM

SayLOVE 参加協力企業



株式会社イエルバ、株式会社アイデアインターナショナル、株式会社イルムスジャパン、株式会社ウィル・シード、株式会社ウィルホールディングス、「ウエダジュエラー」(植田商店株式会社)、「サイバラ水産」(株式会社ウェブクルー)、株式会社エニグモ、大高醤油株式会社、オリジナル、「オルビス」(オルビス株式会社)、「シャノンマーレ化粧品」(株式会社風の音舎)、「fashionfactory」(株式会社 グローバルファッションリソース)、株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン、柴田陽子事務所、株式会社小肥羊(しゃおふえいやん)ジャパン、「Rody」(株式会社 JAMMY)、「Soup Stock Tokyo」(株式会社スマイルズ)、株式会社千疋屋総本店、株式会社茶加藤、チョコレートデザイン株式会社、合同会社道塾、ピーエムアール株式会社、「ドーナツプラント」(株式会社ビッグイーツ)、「ファーストキッチン」(ファーストキッチン株式会社)、「BROOKLYN」(BROOKLYN CO.,LTD.)、「NAIL STATION」(ベレックス株式会社)、「BoConcept」(株式会社ボーコンセプト・ジャパン)、「Bodum」(ボダムジャパン株式会社)、「コレド日本橋」(三井不動産株式会社、ららぽーとマネジメント株式会社)、「Yahoo!ボランティア」(ヤフー株式会社)、ロッテリア(株式会社ロッテリア)、株式会社ワンダーテーブル(敬称略：企業名による五十音順)